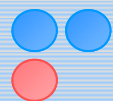


発達心理学



心理学 I 第15回

遺伝が重要？ それとも環境が重要？



遺伝と環境

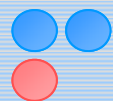
人間を形成するうえで、遺伝と環境の影響をどう考える？

Q1

生得説 ルソーの思想の流れを汲み、ゲゼルの成熟優位説へ



経験説 ロックの哲学の流れを汲み、ワトソンの行動主義へ



生得説① レディネス

子どもに対する早期教育をどう思うか？
たとえば、0歳や1歳児からの幼児教室もあるが…

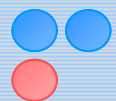
Q2

レディネス
(学習準備性)

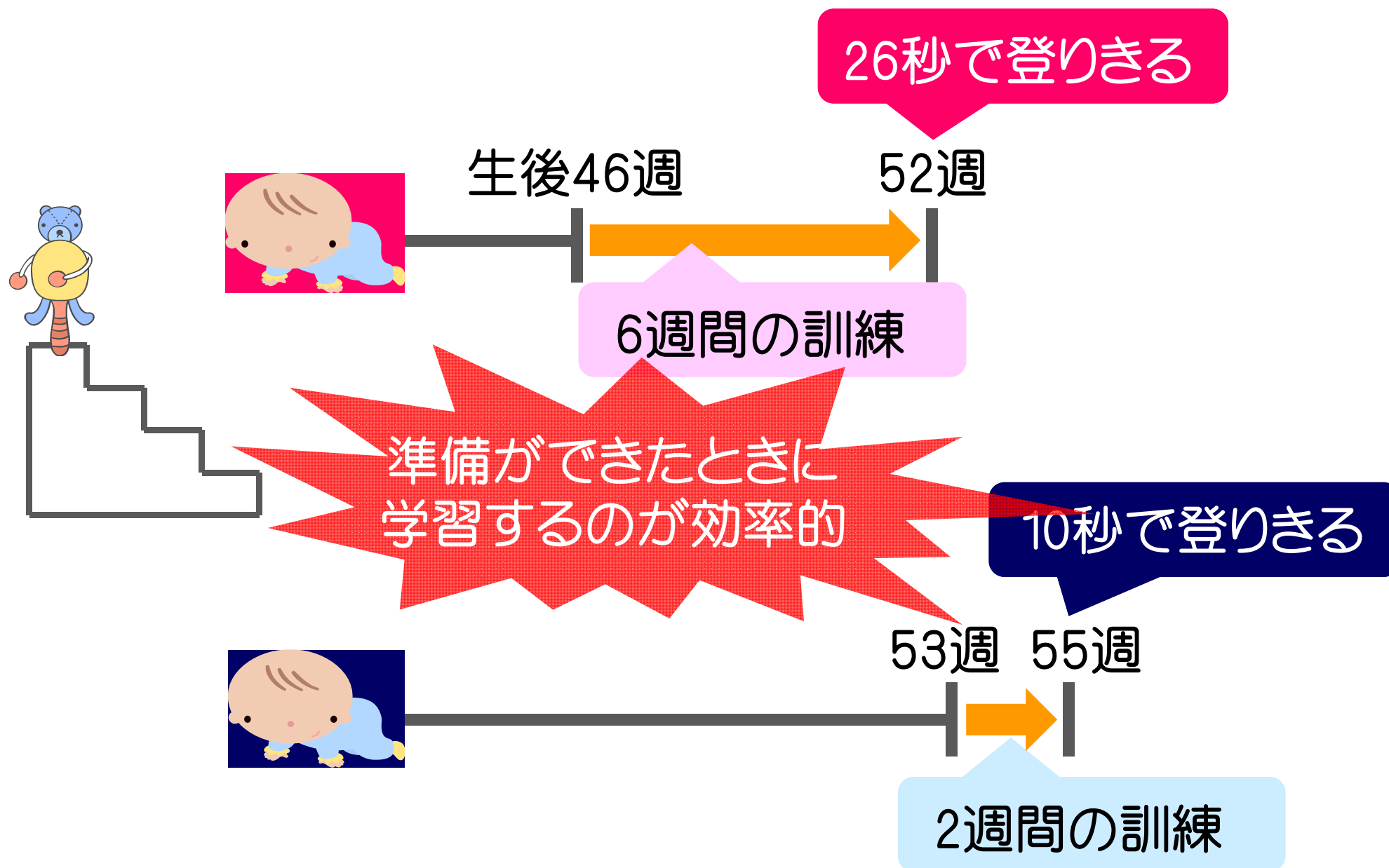
ある学習が成立するのに必要な条件が
準備されている状態

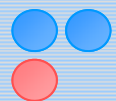
主に神経系の発達を指す

- ◆ ゲゼル(1929) 一卵生双生児に階段登りを教える
早期に教えることは、どの程度の効果をもたらすか？



ゲゼル(1929)の実験



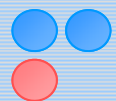


生得説② 双生児研究

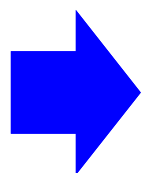
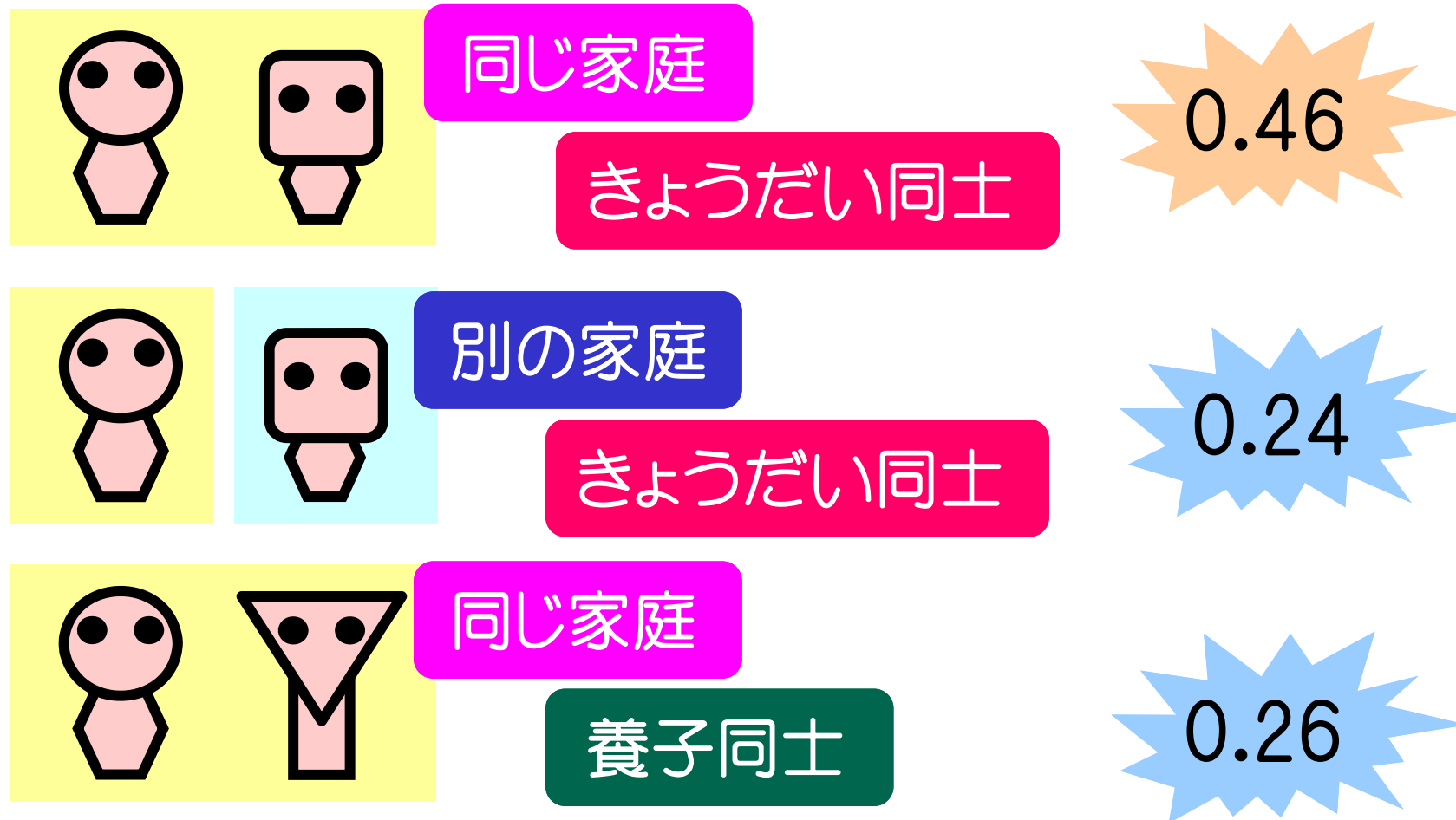
◆デヴィンら(1997)

212の研究をもとに知能指数(IQ)の相関をまとめた

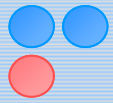




遺伝の重要性



知能指数 (IQ) の75～85%が遺伝によるものであり、
環境の影響は15～25%程度しかない



発達の最近接領域

生得的要因を重視する立場(ゲゼルなど)

準備ができてから教育・学習をすべき

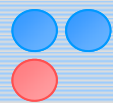
レディネス

批判

「教育が発達の後追いになっている」

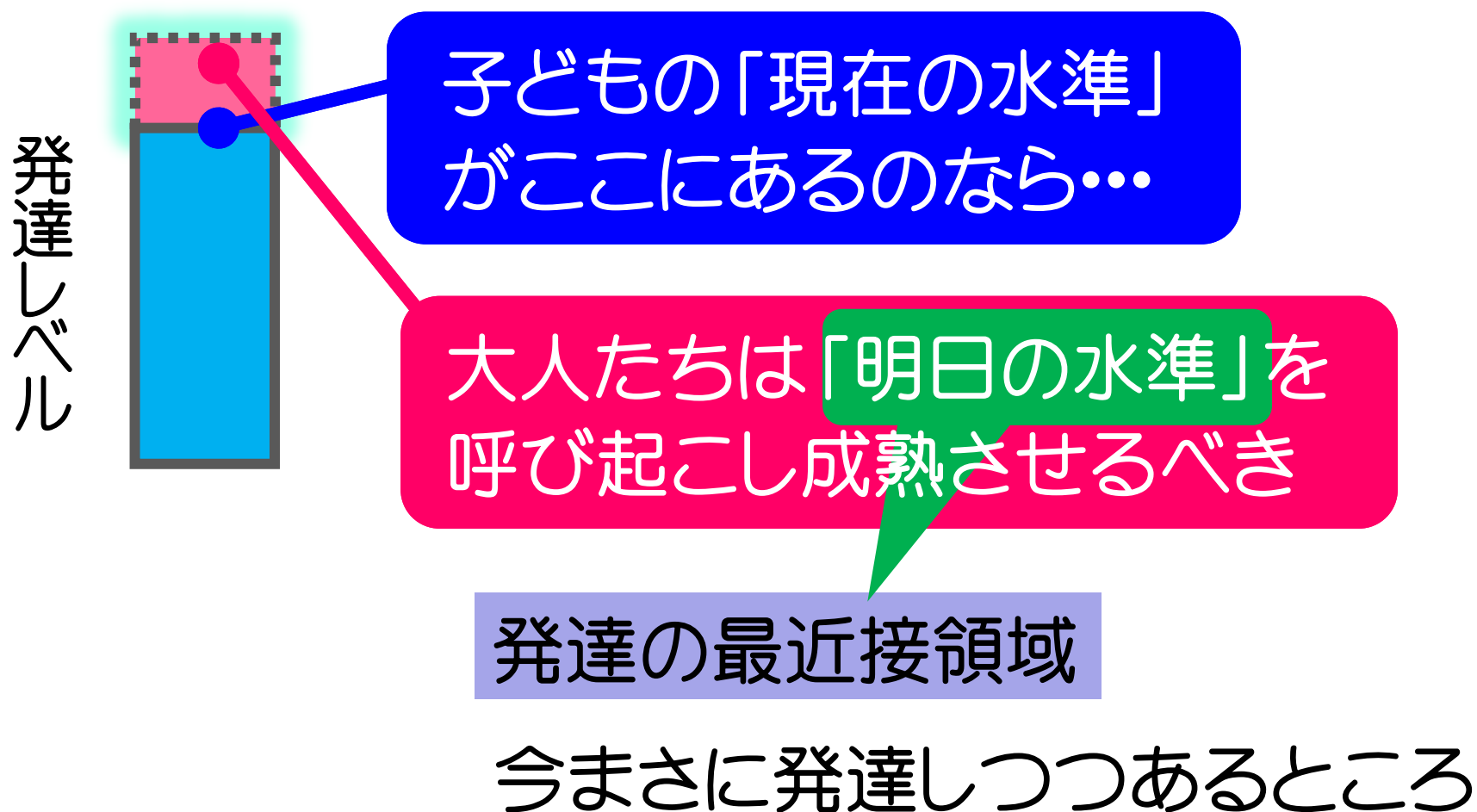
経験的要因を重視する立場

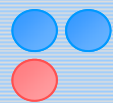
レディネスの成立を待つのでなく、
その成立を促すような経験を与えるべき



経験説① 発達最近接領域

◆発達最近接領域（ヴィゴツキー）





経験説② 野生児

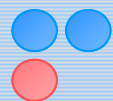
◆アヴェロンの野生児 (wild child)

出生後に遺棄されて人間的環境を奪われ、野生生活を送る
12歳で発見され、6年間の補償教育を受ける

文字をある程度学習し、読み書きができるように

感情表現を理解

音声言語は習得せず、同年齢児にはほど遠い状態



経験説③ 環境剥奪

◆社会的隔離児の研究結果

育児放棄（ネグレクト）などによる長期間の環境剥奪



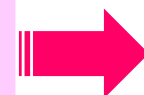
健康面、知的能力で同年齢児より大きく劣る

ただし…

補償教育

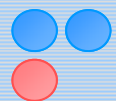


周囲との愛着形成



回復

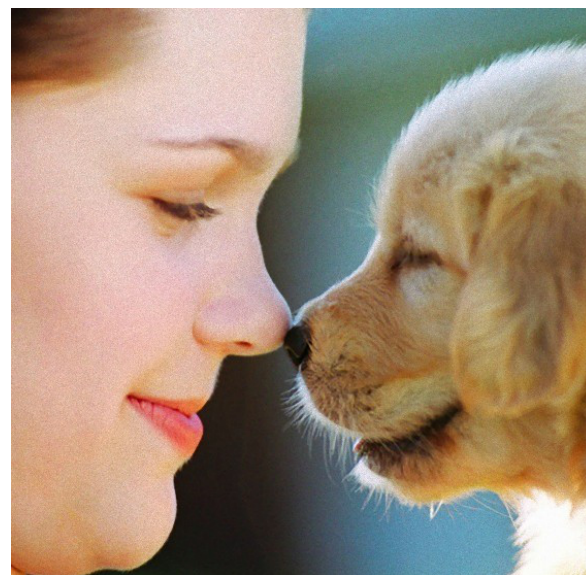
人は成長に時間がかかるので、
初期学習は重要だが絶対でない

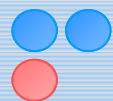


愛着 (attachment)

愛着

人や動物が、他の特定の個体や集合体に対して形成する、情緒的結びつきのこと





愛着 (attachment)

赤ちゃんが、他者に対してとる行動には
何がある？

Q3

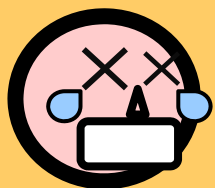
◆ボウルビィの愛着理論

乳児は生まれながらに、愛着を育てる基礎をもっている

動作による他者へのはたらきかけ

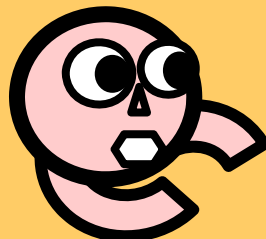
発信行動

泣く、ほほ笑む

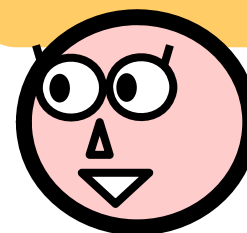


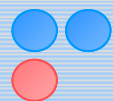
接近行動

吸う、しがみつく



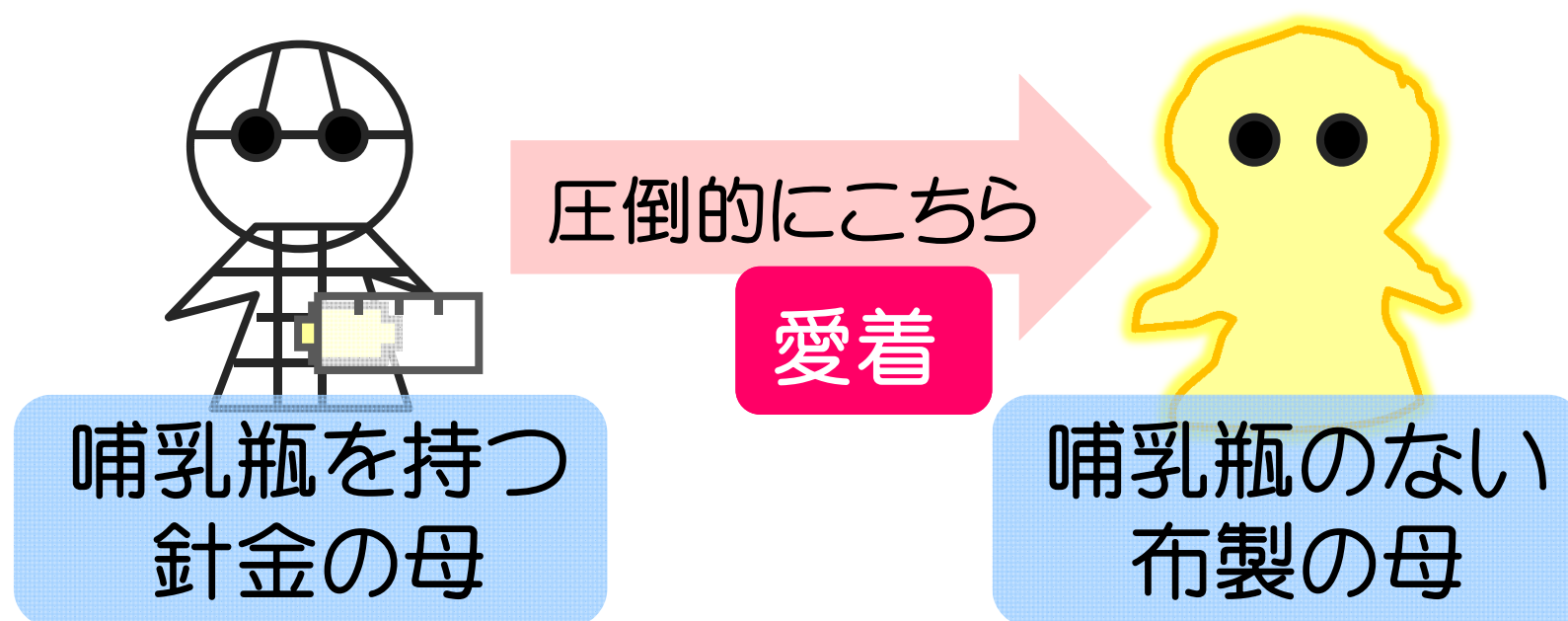
養育者との
関わりを生む

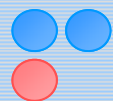




ハーロウらの研究

- ◆サルにおけるマザリング研究(ハーロウら)
サルの赤ちゃんを生後すぐに母親と引き離し、
代理母と飼育する
普段過ごす場所、あるいは何か起きたときの
避難場所として、どちらを好む？





マザリング (mothering)



布製の代理母に抱きつく子ザル

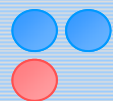
代理母を母親と思っているかは不明だが…

生得的に柔らかな愛撫に守られていることを好むのは確か

※1か月間引き離した後で再会しても、すぐに抱きつきに行く

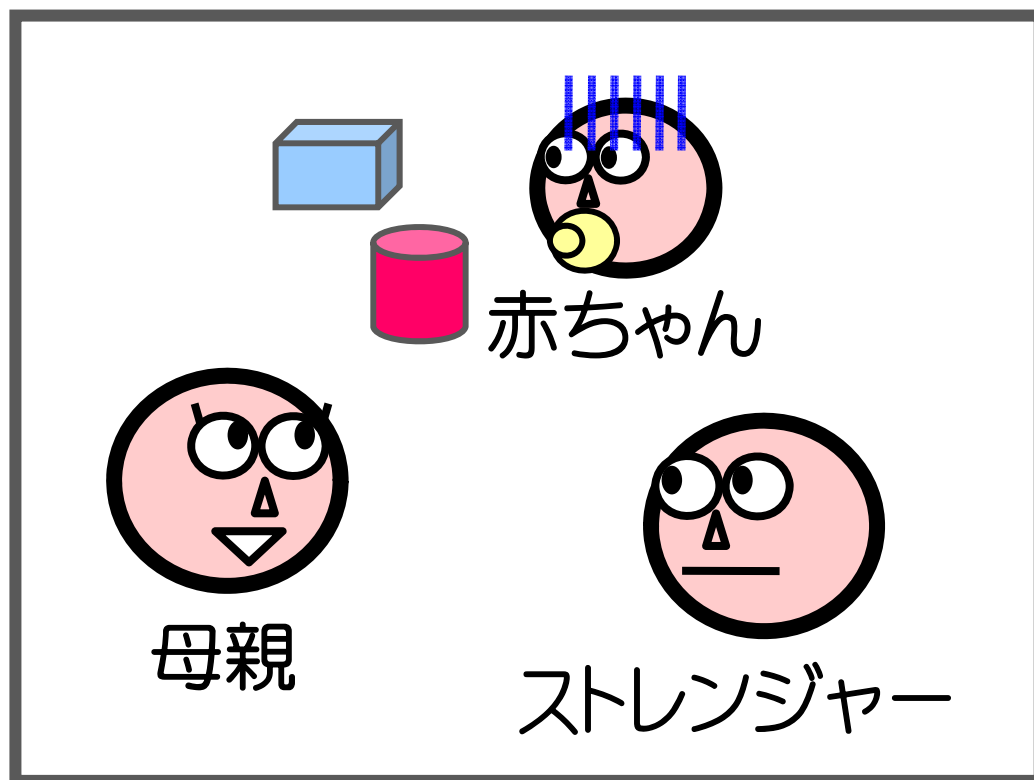
マザリング

乳幼児に対する母性的愛撫のこと。
母親への愛着形成に重要な役割を果たす。



愛着の成立

◆ストレンジ・シチュエーション実験



お母さんが退室

全員が退室



多くの赤ちゃんは
不安、不機嫌に

母親への愛着がきちんと成立していない
子どもは不安にならない

ファザリング

父親は子育ての中で、どんな役割を果たすべき？ **Q4**

ファザリング 父親による子どもへの愛情的はたらきかけ

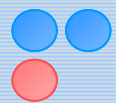
◆ストレンジ・シチュエーション実験で…

父親が退室しても、子どもが不安になることは少ない

ただし…

接触時間が父親と母親で差がない乳児は、
愛着を示す程度も同じ

➡ 父親と母親の役割を、固定化し過ぎる必要はない



愛着の対象の変化

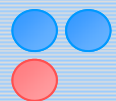
愛着の対象は、発達とともに変化する



いずれかの愛着の対象が欠けることは、
発達に影響するが、決定的ではない



愛着の再形成



ともだちの意味

◆ハーロウの研究

母親と引き離され、
代理母と過ごした子ザル

➡ 異常行動が多い



他の子ザルとは
接触していた子ザル

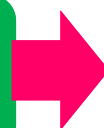
➡ 異常行動は少ない

母親とだけ過ごした子ザル

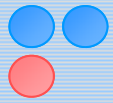
➡ 他の個体との接触が
うまくいかない

きょうだい

ともだち



社会性を発達させ、親とは
別の効果をもたらす



本日の回答

遺伝が重要？ それとも環境が重要？

人の発達における遺伝と環境の重要性に関しては長い論争がある

どちらかだけが重要なのではなく、遺伝的要因が環境的要因と相互作用しながら心が形成される

良い環境には、その人の遺伝的要因に合致していることや、愛着が形成されることが重要である